令和５年１月 10 日

学校だより

１月号

横浜市立美しが丘東小学校
学校長　　藤本　光子

ホームページ　http://www.edu.city.yokohama.jp/es/utsukusigaokahigashi/

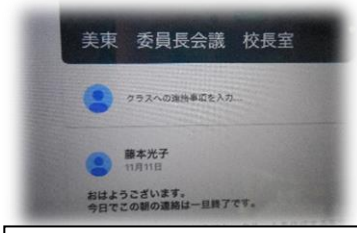
ICT と人とのつながり

校長　藤本 光子

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、新春を新鮮な気持ちでお迎えのことと存じます。今年も美しが丘東小学校の子どもたちにとって素晴らしい年になるよう、力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いします。

さて、今、学校現場では ICT（情報通信技術）の活用が推進されています。子どもたちは大人顔負けのスキルをもっていて、教室に整備されている ipad も、あっという間に使えるようになっていきます。私も、何かできることがないか考えて取り組んでみました。



↑ ipad 内の掲示板（画面上でやりとりできます）

まず、6年生に相談事があるときに、掲示板機能を活用してみました。例えば、PTA 活動で取り組んでくださっているベルマークについてです。せっかくなので、子どもたちにもどんなものが欲しいか聞いてみることにしました。また、「ふるさと納税～教育の充実～」制度により寄付をいただきましたので、その使い道についても子どもたちと一緒に考えました。6年生はとても忙しいので、集まって話し合う時間がなかなか取れません。ですから、ipad 内に「美東小　委員長会議　校長室」というグループを作り、時間に縛られずに、いつでも子どもたちが意見を述べることができるような場（掲示板）を設定しました。

私は最初、この掲示板機能を使うことで、子どもとの直接の会話が減ってしまうのではないかと心配していました。しかし、結果はその逆で、「校長先生、意見を（掲示板に）書いておきました。」「今日は忙しくて見られなかったので明日見ます。」と私に声をかけてくれる子が増え、とても明るい気持ちになりました。さらに、「委員会活動をコロナ前のように戻してほしい。もっと活動したい。」という、うれしい意見も耳にすることができました。ちなみに、ベルマーク商品は「ドッジビー」という遊び道具に決まり、朝会の贈呈式で PTA ご担当の方々より子どもに渡していただきました。体育委員会による紹介ビデオも力作でした。休み時間にたくさん遊んでほしいです。ふるさと納税についても決まり次第お知らせします。

また、お隣の美しが丘小学校の6年生と本校の6年生の代表児童がオンラインで交流をする機会を設けました。美しが丘小学校の6年生が「まちのキャラクターを作ろう」という企画を考え、本校にも募集の声をかけてくれたのです。休み時間の短い時間でしたが、6年生の代表委員がテレビ越しに顔を見ながら説明を聞いたり、質問したりしました。オンラインで相手の顔を見ながら会話することで、「それいいね。」「すごい計画だ。」などの賞賛の声も直接相手に届けることができ、温かい雰囲気が生まれました。そして、最後は拍手でエールを送る姿を見て、本校の子どもたちの素直さ、心の明るさにつくづく感心しました。

今の子どもたちは ICT 機器をすぐに操作できるようになりますが、それだけでは活用したことにはなりません。目的に応じて正しく効果的に使うことの大切さを学ぶ必要があります。そうすることで、人とのつながりをより深めることができ、本当の意味での便利さを実感できるのだと思います。